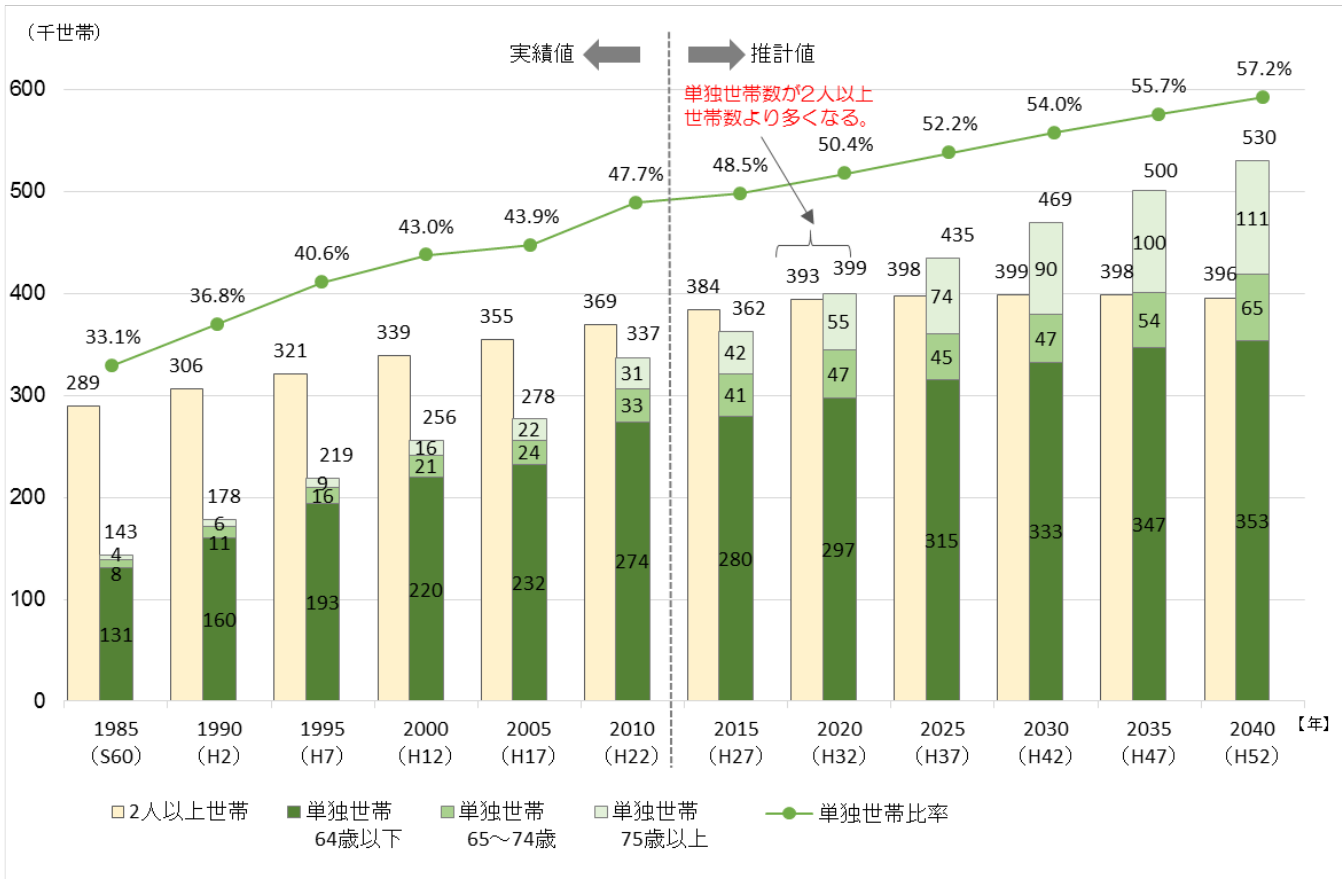


関連データ

福岡市の単身世帯の実績値及び推計値

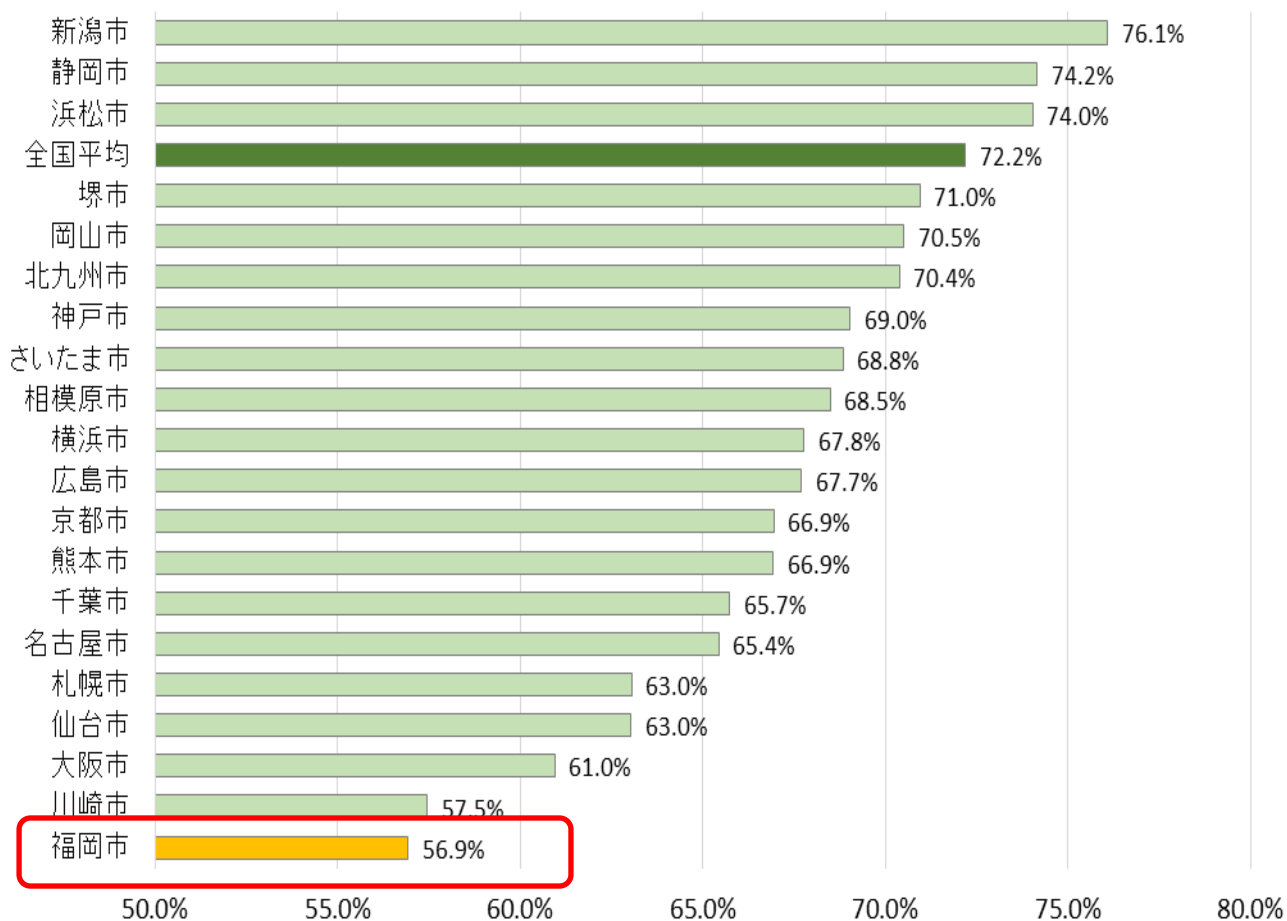
単身世帯は増加しており、平成32年には、全世帯に占める単身世帯の割合が50%を超えると予想されている。



出典：国勢調査〔総務省〕
福岡市の将来推計人口（平成24年3月）〔福岡市〕

5年間の現住所居住率比較

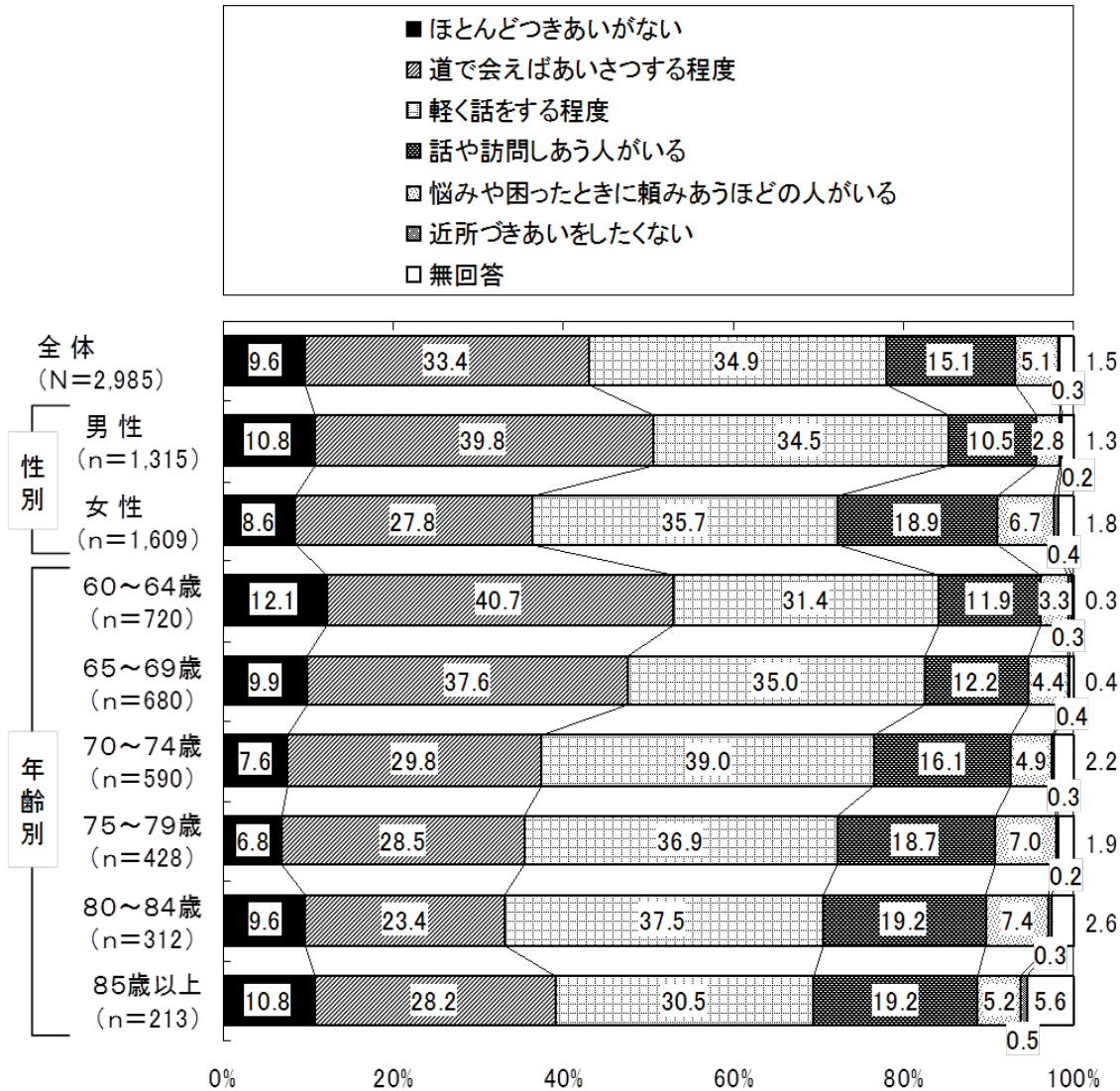
5年間の現住所居住率を比較すると、福岡市は政令市で最も低く、転入・転出が多い都市であると考えられる。



出典) 平成22年国勢調査 [総務省統計局]

近所付き合いの状況

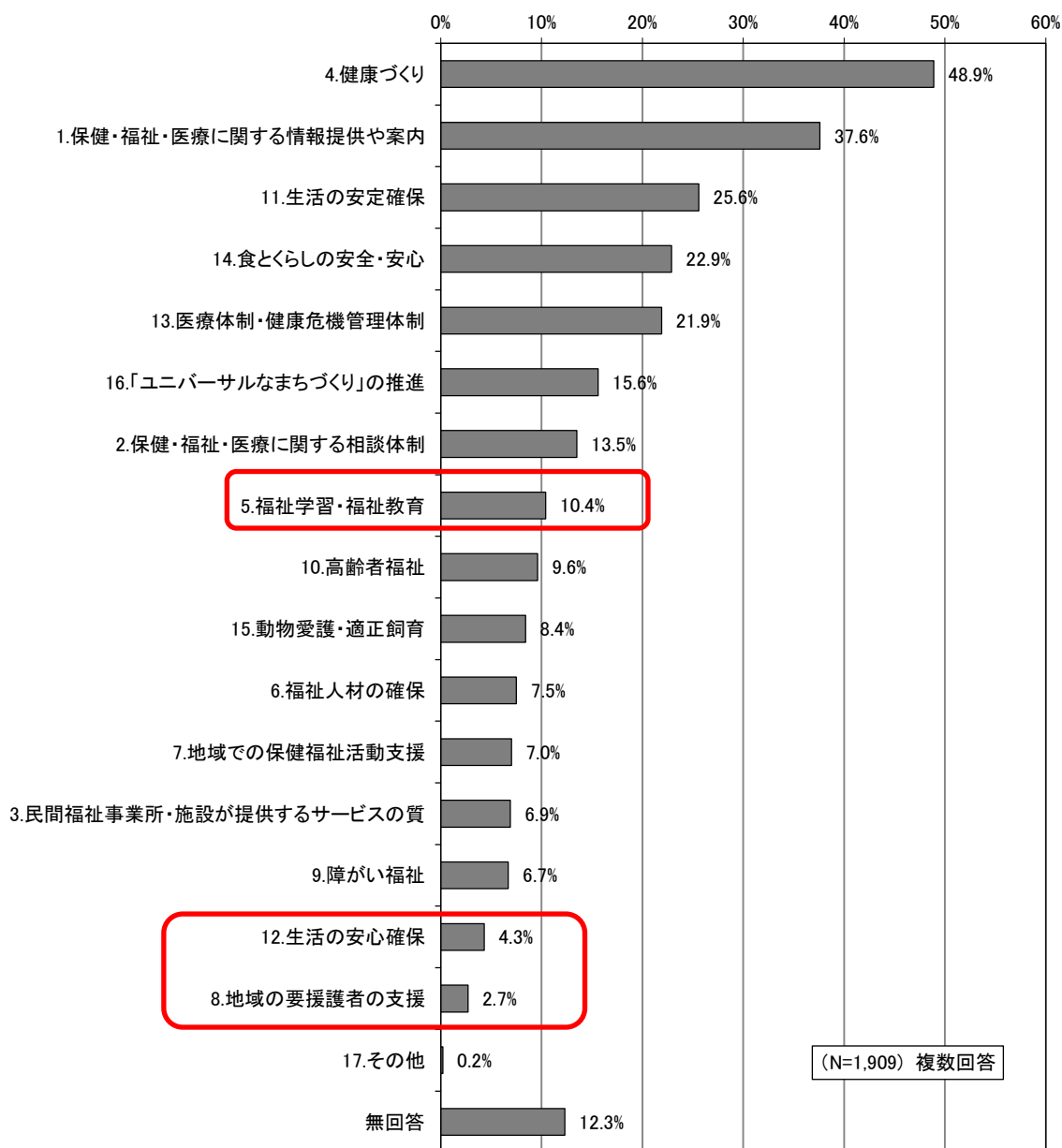
「ほとんどつきあいが無い」と「道で会えばあいさつする程度」を合わせた『近所付き合いが少ない人』は43.0%。反対に「話や訪問しあう人がある」と「悩みや困ったときに頼みあうほどの人がある」をあわせた『近所付き合いが多い人』は20.2%となっている。



出典：平成25年度福岡市高齢者実態調査 [福岡市]
(注) 調査対象者…60歳以上の市内在住者

身近な暮らしの保健福祉について満足している内容

「地域の要援護者の支援」、「生活の安心確保」について、満足度が低い。
また、「福祉学習・福祉教育」についても満足度は10.4%と比較的低い。

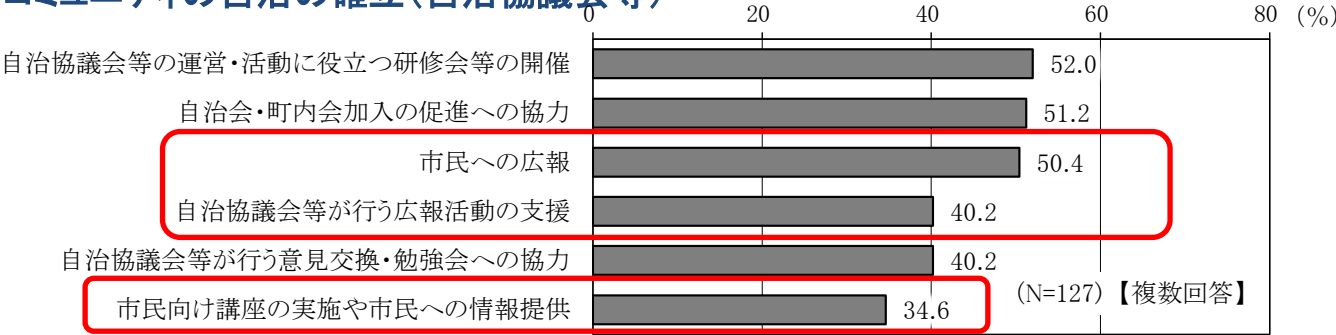


出典：福岡市保健福祉総合計画策定等にかかる市民意識調査（平成26年12月）[福岡市]

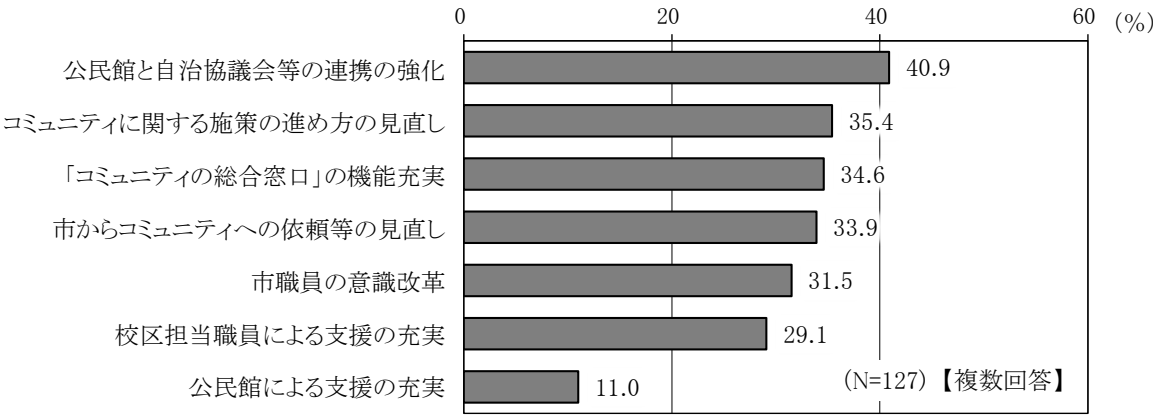
福岡市が取り組む必要があるもの

「市民への広報」、「情報の提供」、「地域活動に関する市民の意識啓発」「住民が地域活動に参加するきっかけづくり」などが要望されている。

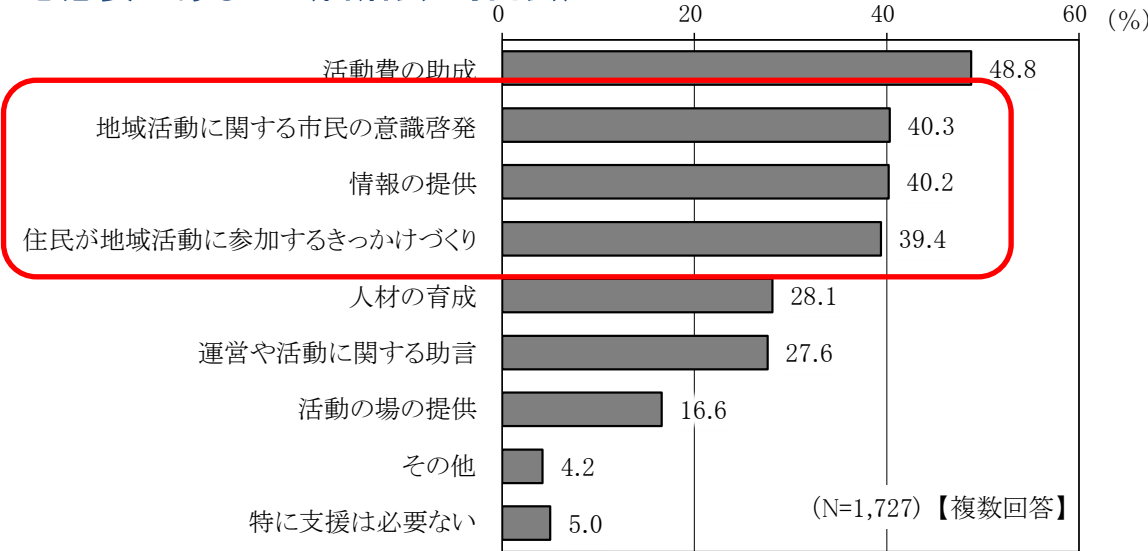
■コミュニティの自治の確立(自治協議会等)



■コミュニティと市の共働(自治協議会等)



■行政が取り組む必要があること(自治会・町内会)



出典：平成26年度自治協議会・自治会等アンケート報告書〔福岡市〕

(注1) 自治協議会等…

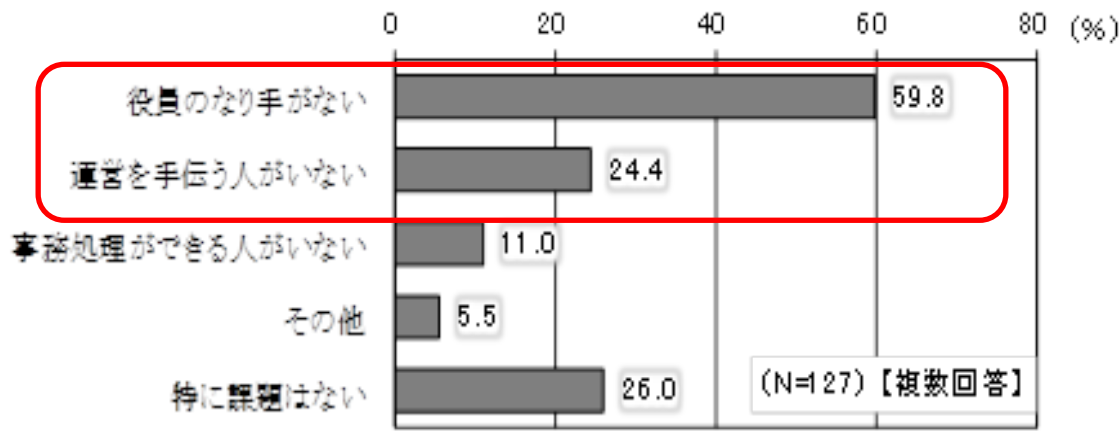
自治協議会及び自治会・町内会の連合会（自治連合会）

(注2) 図表中の値は、全市での割合

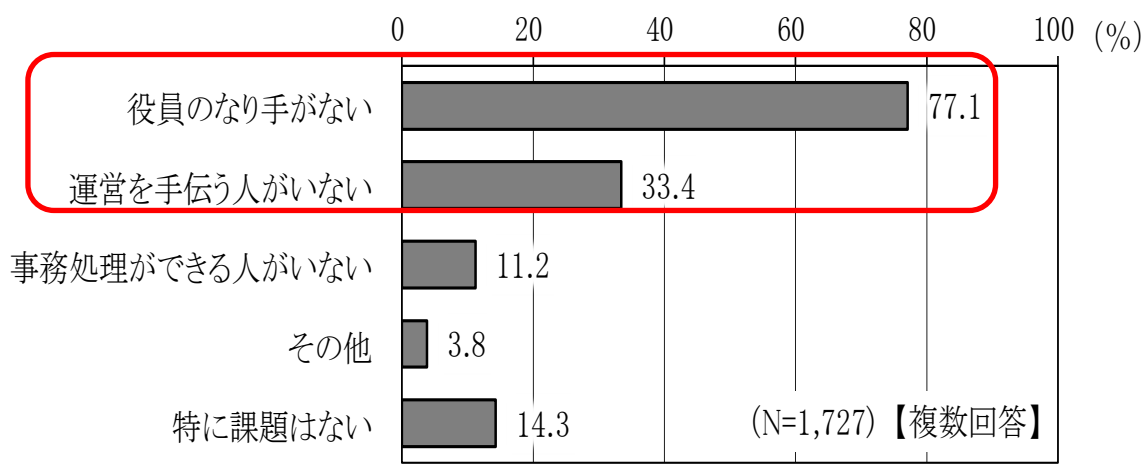
運営や活動にあたっての課題(人材)

地域活動を担う人材が不足している。

■自治協議会等



■自治会・町内会

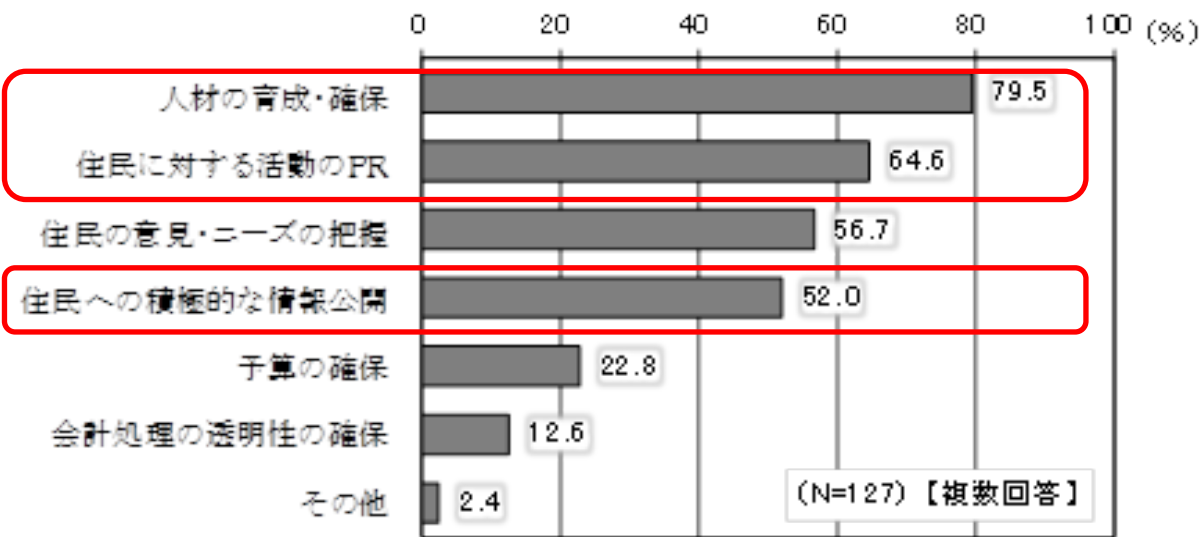


出典：平成26年度自治協議会・自治会等アンケート報告書〔福岡市〕
(注1) 自治協議会等…自治協議会及び自治会・町内会の連合会（自治連合会）
(注2) 図表中の値は、全市での割合

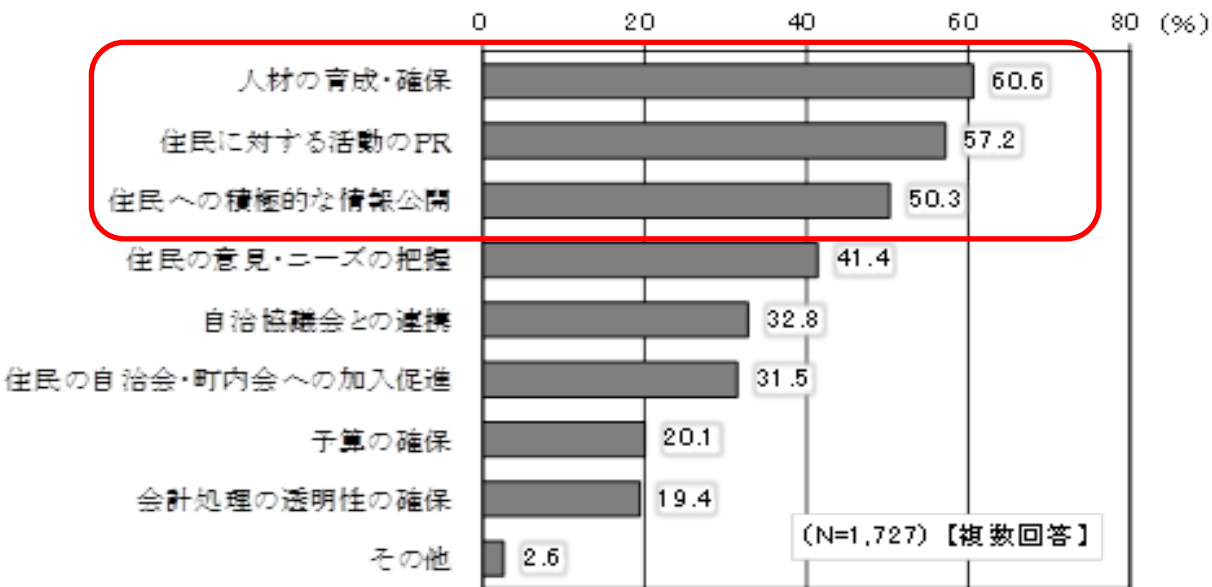
運営や活動を充実させるために必要なこと

「人材の育成・確保」のほか、「住民に対する活動のPR」「住民への積極的な情報公開」など、広報や情報公開についても、充実させる必要があると考えられている。

自治協議会等



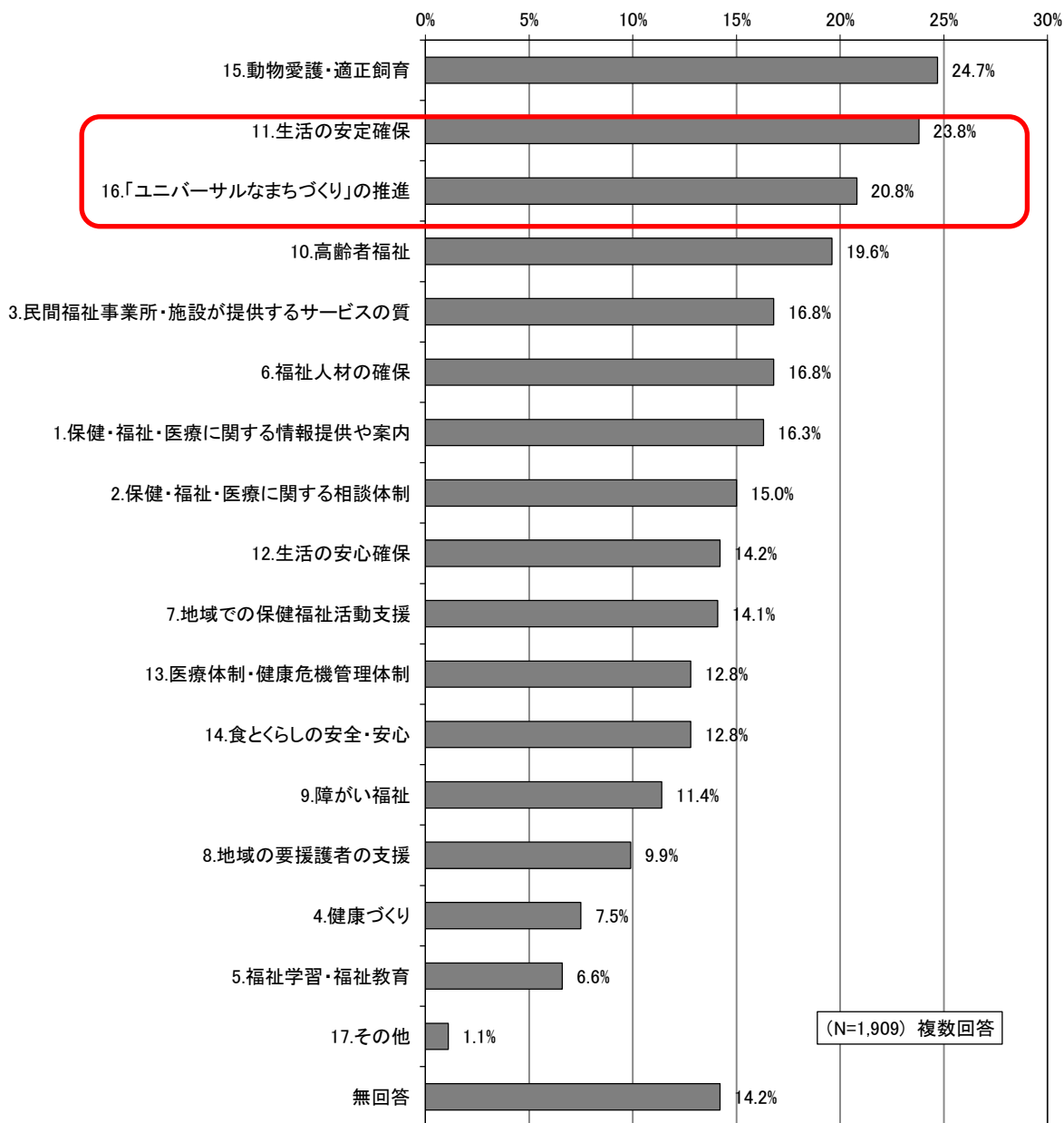
自治会・町内会



出典：平成26年度自治協議会・自治会等アンケート報告書〔福岡市〕
(注1) 自治協議会等…自治協議会及び自治会・町内会の連合会（自治連合会）
(注2) 図表中の値は、全市での割合

身近な暮らしの保健福祉について不満がある内容

「生活の安定確保」、「ユニバーサルなまちづくりの推進」について、不満が高い。



出典：福岡市保健福祉総合計画策定等にかかる市民意識調査（平成26年12月）[福岡市]

福岡市のバリアフリーの現状

施設ごとにバリアフリー化が行われ、連続的なバリアフリー化が図られていない。
また、ソフト面での対策が不十分である。



歩道と建物の境界で誘導ブロックが途切れている



歩道はバリアフリー化されたが、公園の出入口への誘導ができていない



ハード整備が困難なため、地域や行政、警察等が連携して、見守りや違法駐車防止などのソフト面の取組みを行っている

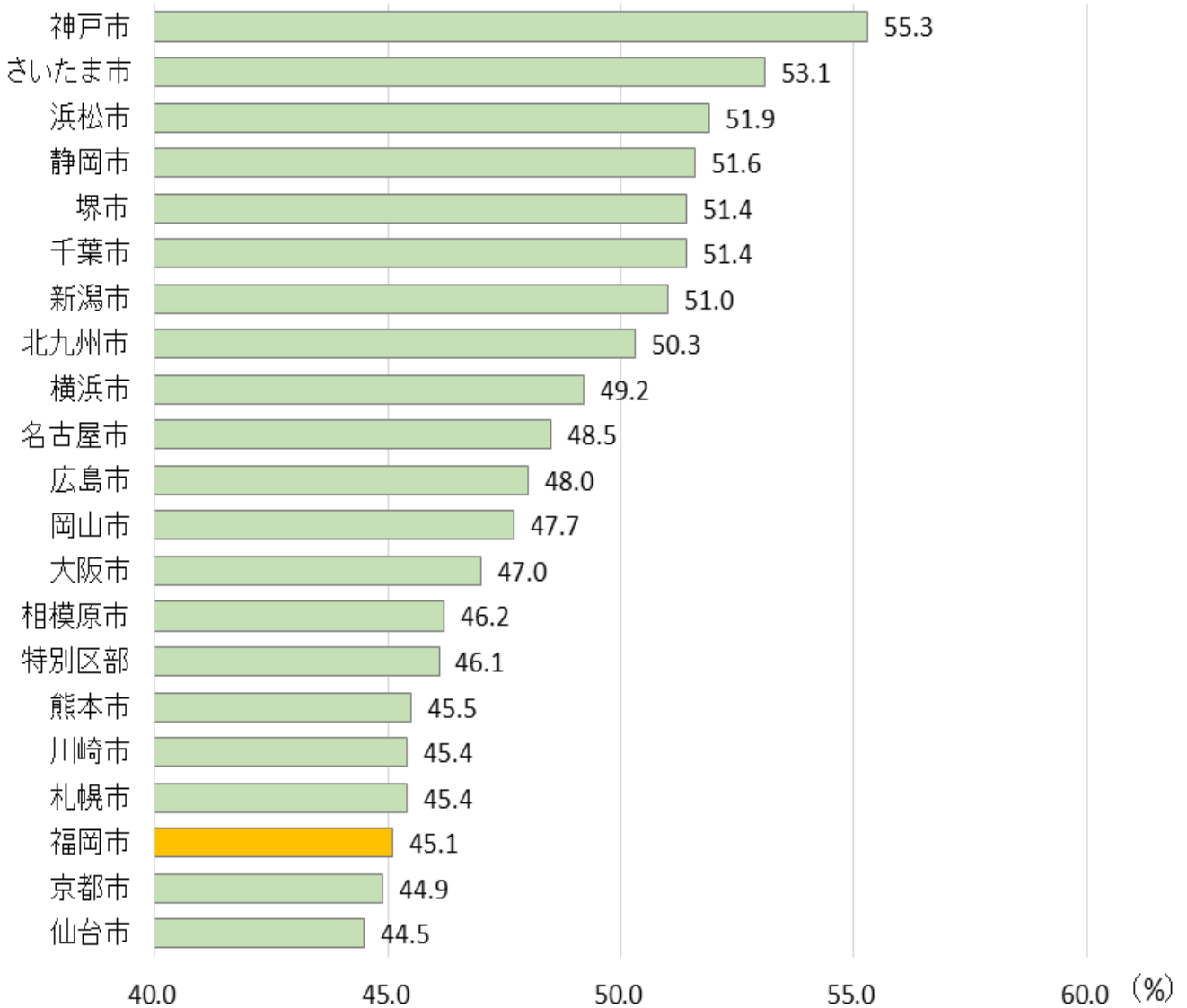


ハード整備が困難なため、地域や行政、警察等が連携して、見守りや違法駐車防止などのソフト面の取組みを行っている

出典：福岡市バリアフリー基本計画（平成25年4月）[福岡市]

高齢者等のための設備がある住宅の割合

高齢者等のための設備がある住宅の割合は、政令市の中で45.1%と低い。



出典：平成25年住宅・土地統計調査結果〔総務省統計局〕

(注1) 高齢者等のための設備…

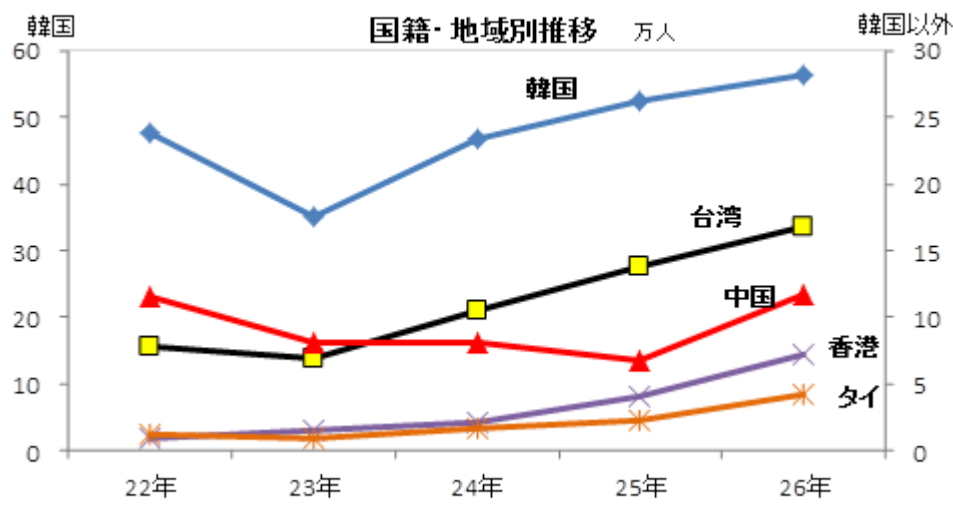
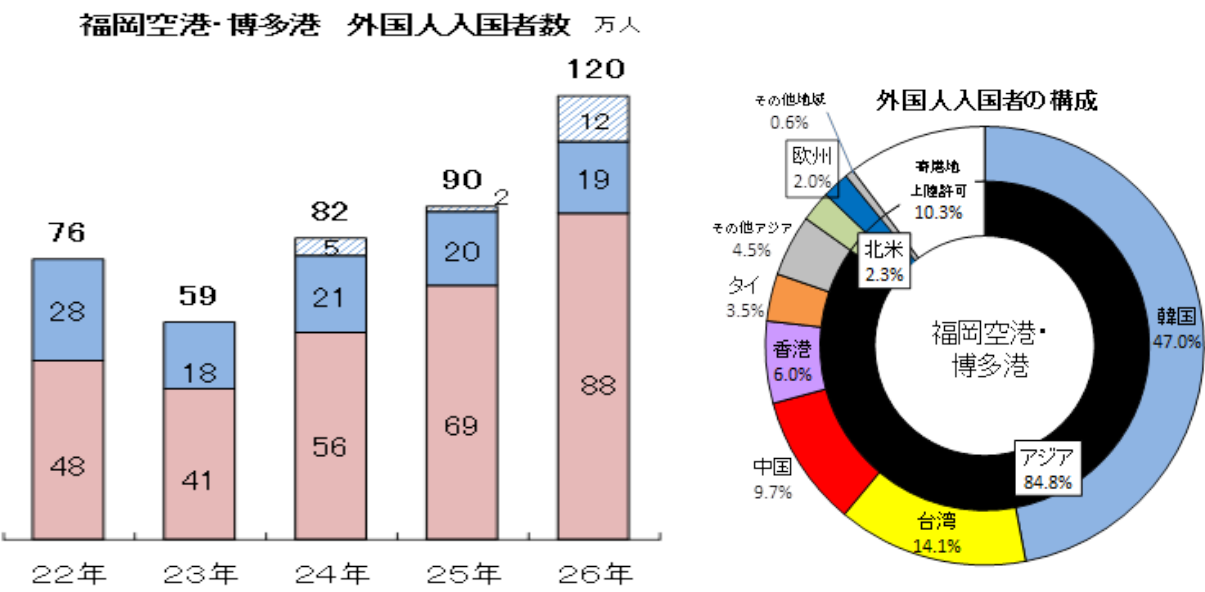
階段・トイレ・浴室の「手すり」，「またぎやすい高さの浴槽」 「廊下などが車いすで通行可能な幅」

「段差のない屋内」 「道路から玄関まで車いすで通行可能」

(注2) 当該調査結果には，調査時点で高齢者（65歳以上）がいなくても，将来を見越して工事した場合の上記設備も含む。

外国人入国者数

平成26年の福岡空港・博多港から入国した外国人の数は、100万人を突破し、3年連続で過去最高を更新。前年比33.0%(30万人)増の120万人。

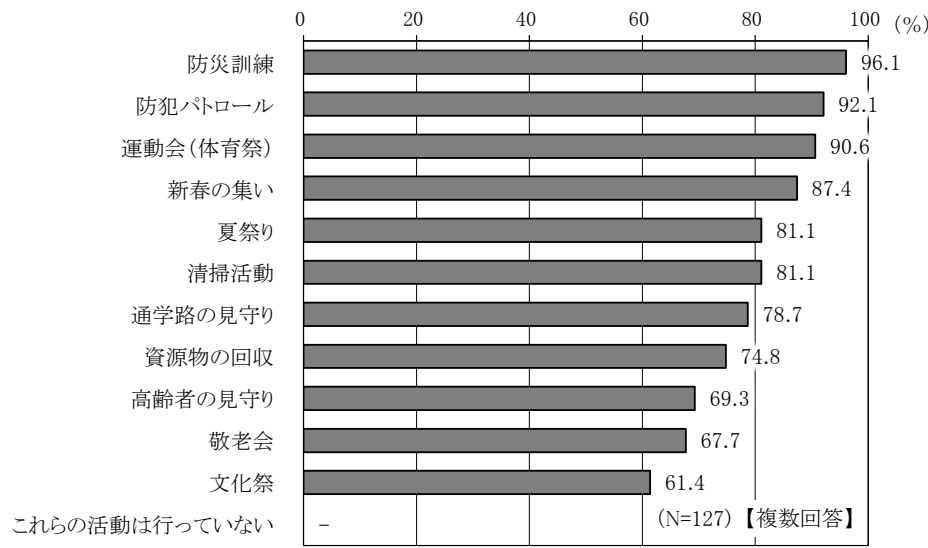


出典：福岡市経済観光文化局

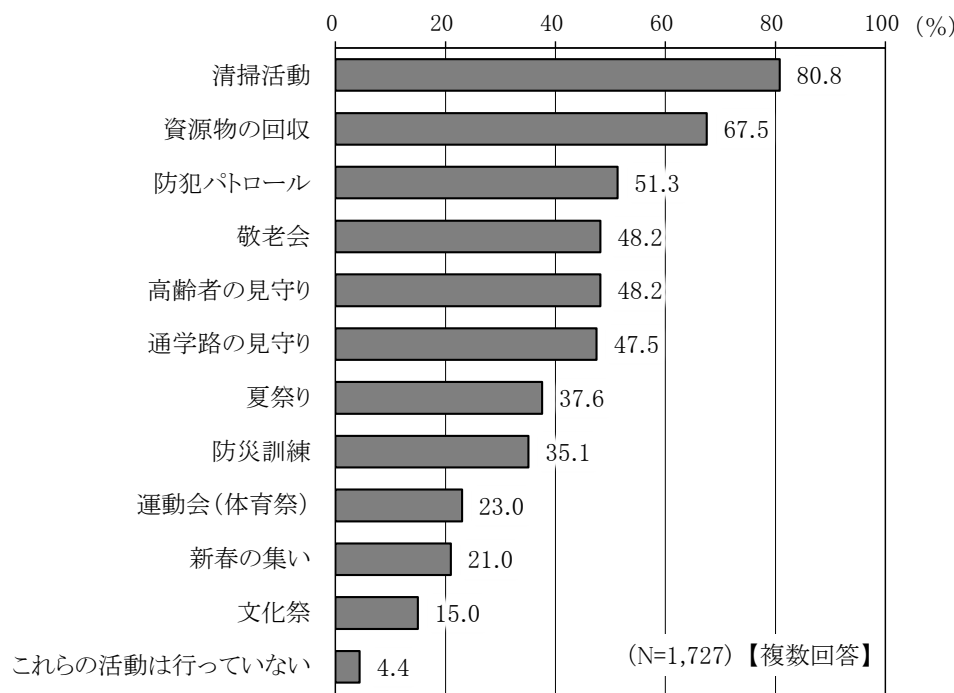
主催・共催している活動や行事の実施状況

自治協議会等や自治会・町内会では、防犯パトロールや清掃活動など、さまざまな活動が実施されている。

■自治協議会等



■自治会・町内会



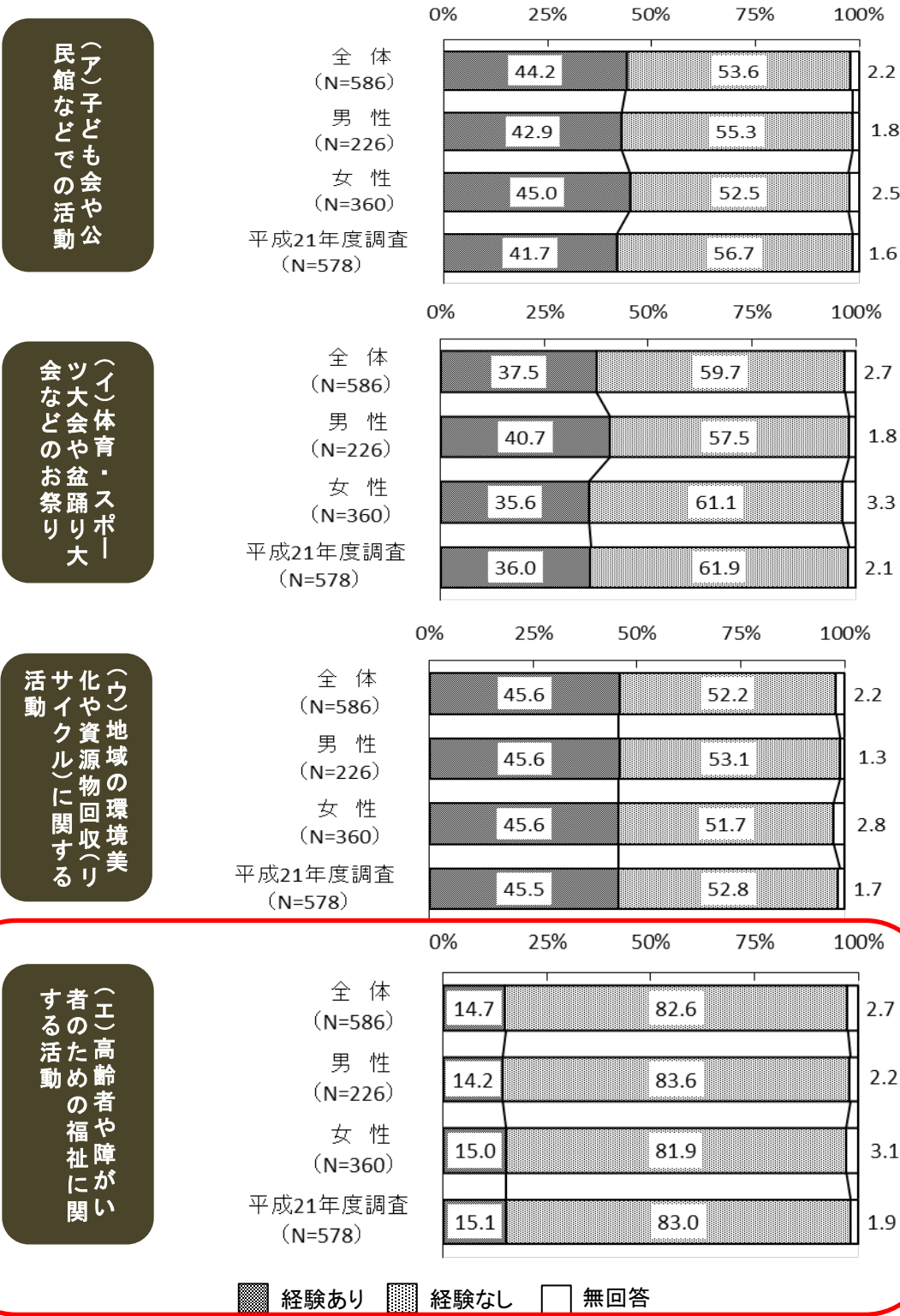
出典：平成26年度自治協議会・自治会等アンケート報告書〔福岡市〕

(注1) 自治協議会等…自治協議会及び自治会・町内会の連合会（自治連合会）

(注2) 図表中の値は、全市での割合

若者の地域活動への参加状況

特に若者については、「高齢者や障がい者のための福祉に関する活動」について、8割を超える人が「経験なし」と答えている。

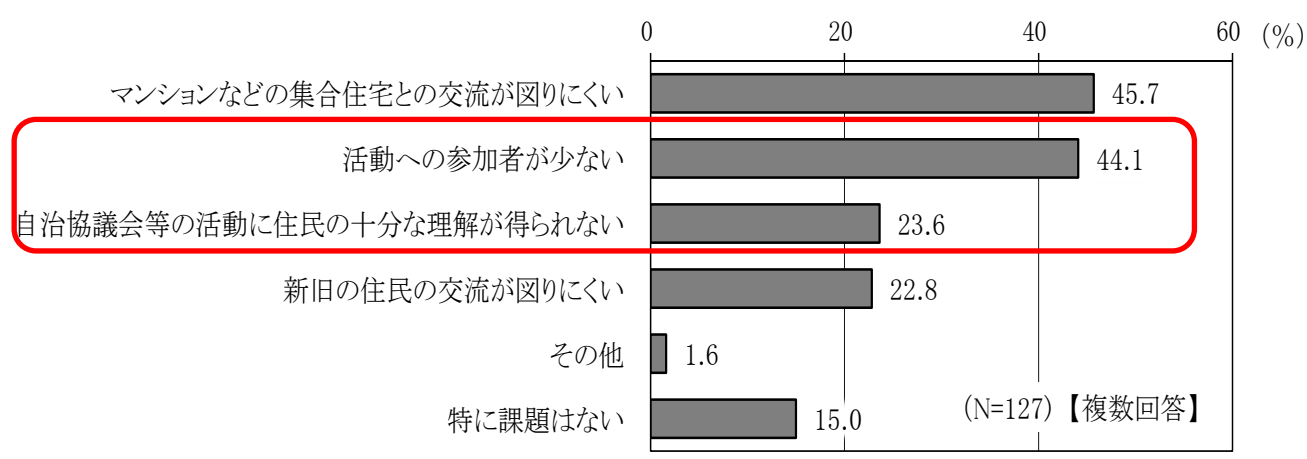


出典：子ども・子育て支援に関するニーズ調査（平成26年3月）[福岡市]
（注）調査対象者：18～30歳までの男女586名

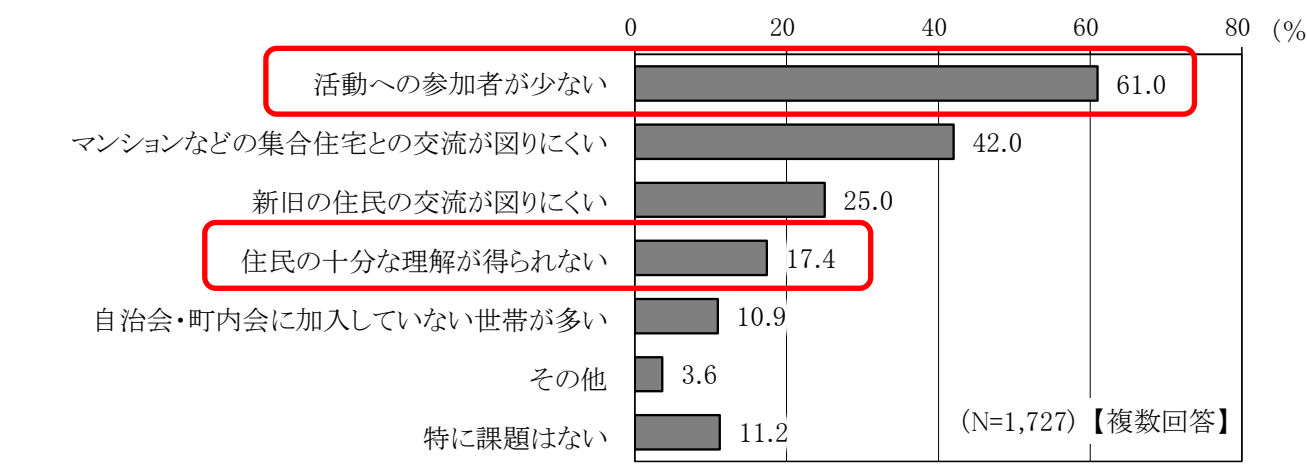
運営や活動にあたっての課題(住民)

「活動の参加者が少ない」や「住民の十分な理解が得られない」などの課題がある。

■自治協議会等



■自治会・町内会

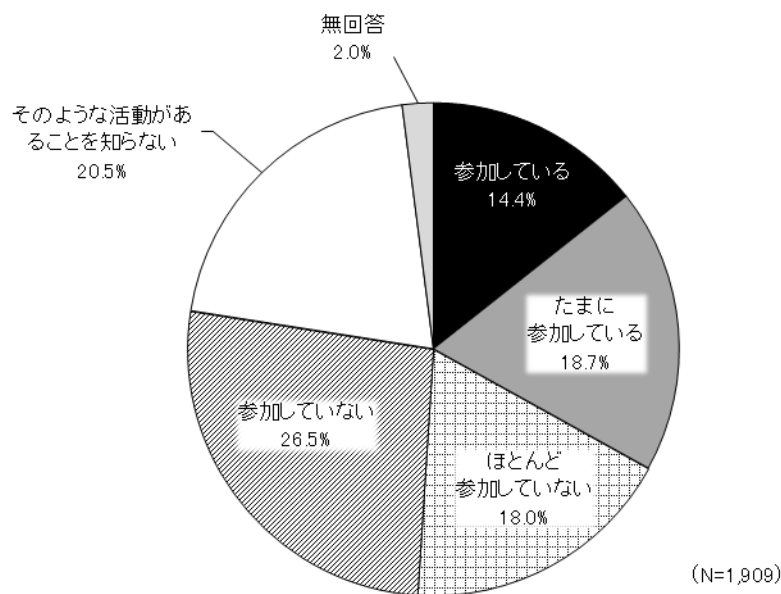


出典：平成26年度自治協議会・自治会等アンケート報告書〔福岡市〕
(注1) 自治協議会等…自治協議会及び自治会・町内会の連合会（自治連合会）
(注2) 図表中の値は、全市での割合

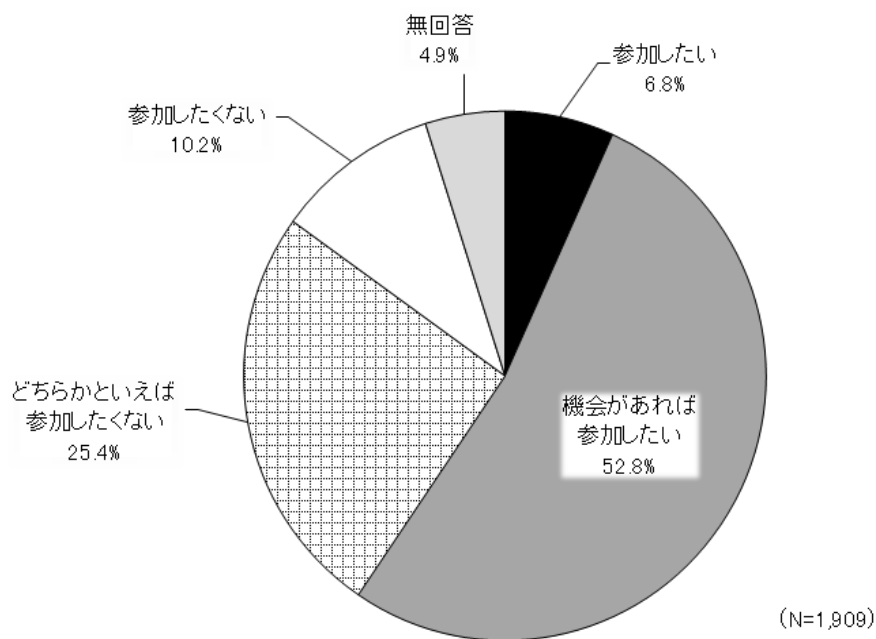
地域での助け合い・支え合い活動の参加状況及び参加意向

地域活動に『参加したい』、『機会があれば参加したい』と考えている人は、5割を超える一方で、実際に『参加している』、『たまに参加している』人は3割程度となっている。

■住民参加による地域での助け合い、支え合い活動への参加状況



■住民参加による地域での助け合い、支え合い活動への参加意向

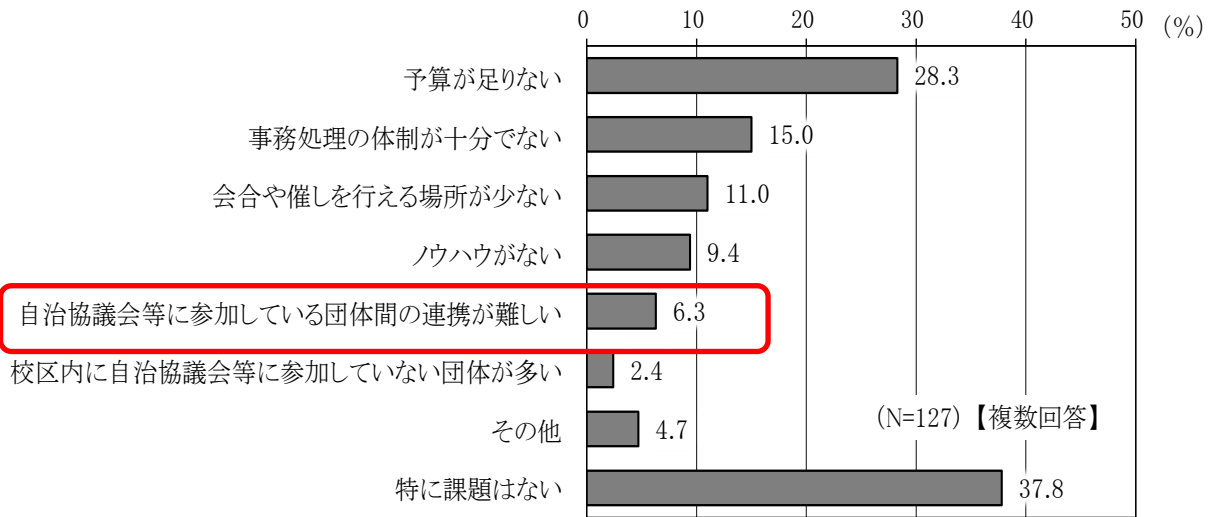


出典：福岡市保健福祉総合計画策定等にかかる市民意識調査（平成26年12月）[福岡市]

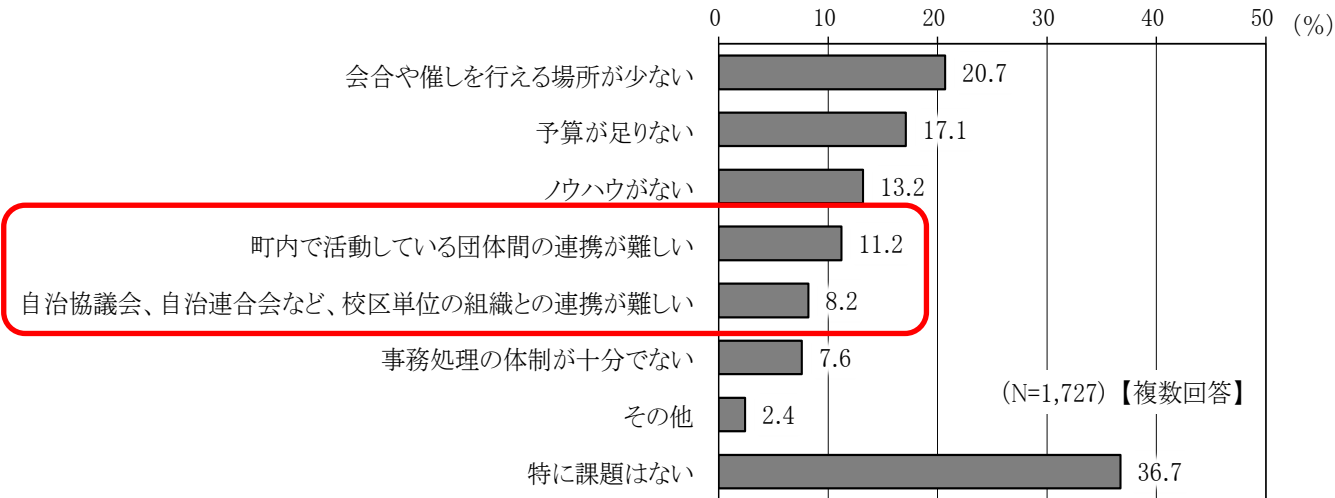
運営や活動にあたっての課題(運営)

運営にあたって、「自治協議会等の参加している団体間の連携」や「町内で活動している団体間の連携」が難しいとの課題がある。

■自治協議会等



■自治会・町内会

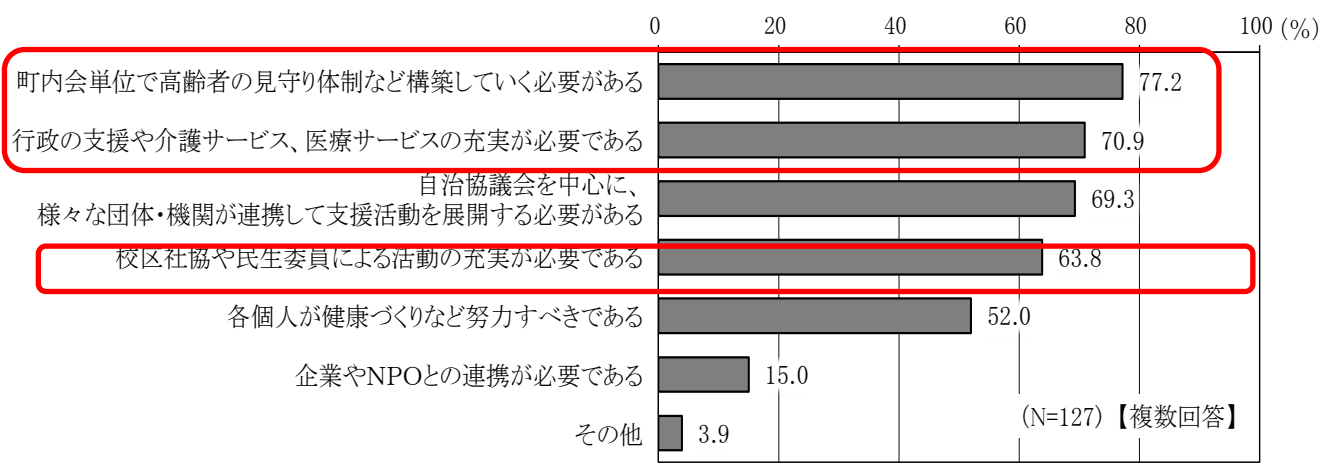


出典：平成26年度自治協議会・自治会等アンケート報告書〔福岡市〕
(注1) 自治協議会等…自治協議会及び自治会・町内会の連合会（自治連合会）
(注2) 図表中の値は、全市での割合

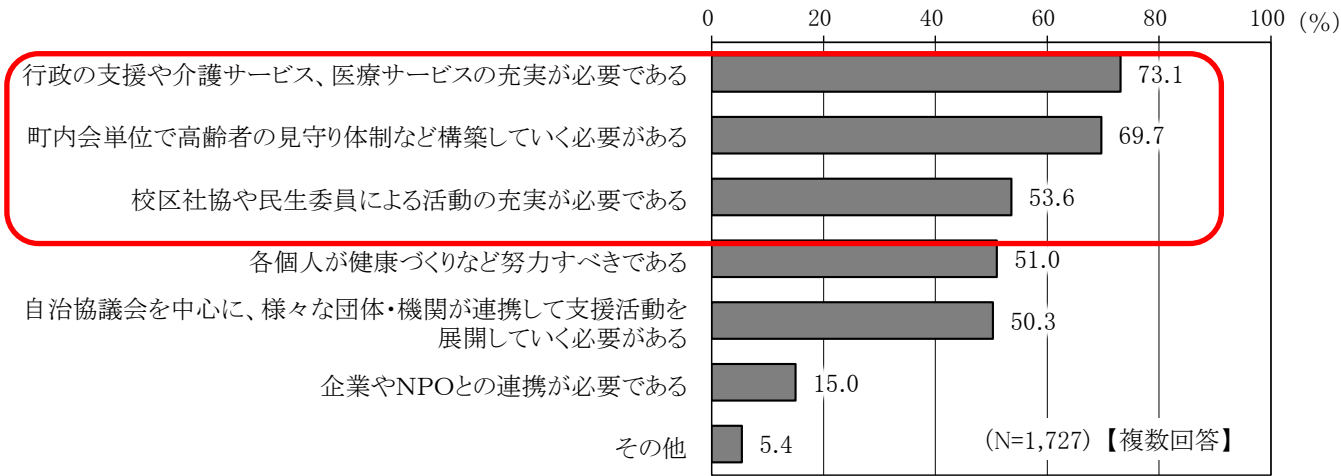
超高齢社会を目前に控え必要な対応

今後、「高齢者の見守り体制の構築」や「行政の支援や介護サービス、医療サービスの充実」、「校区社協や民生委員による活動の充実」が必要であると考えられている。

■自治協議会等



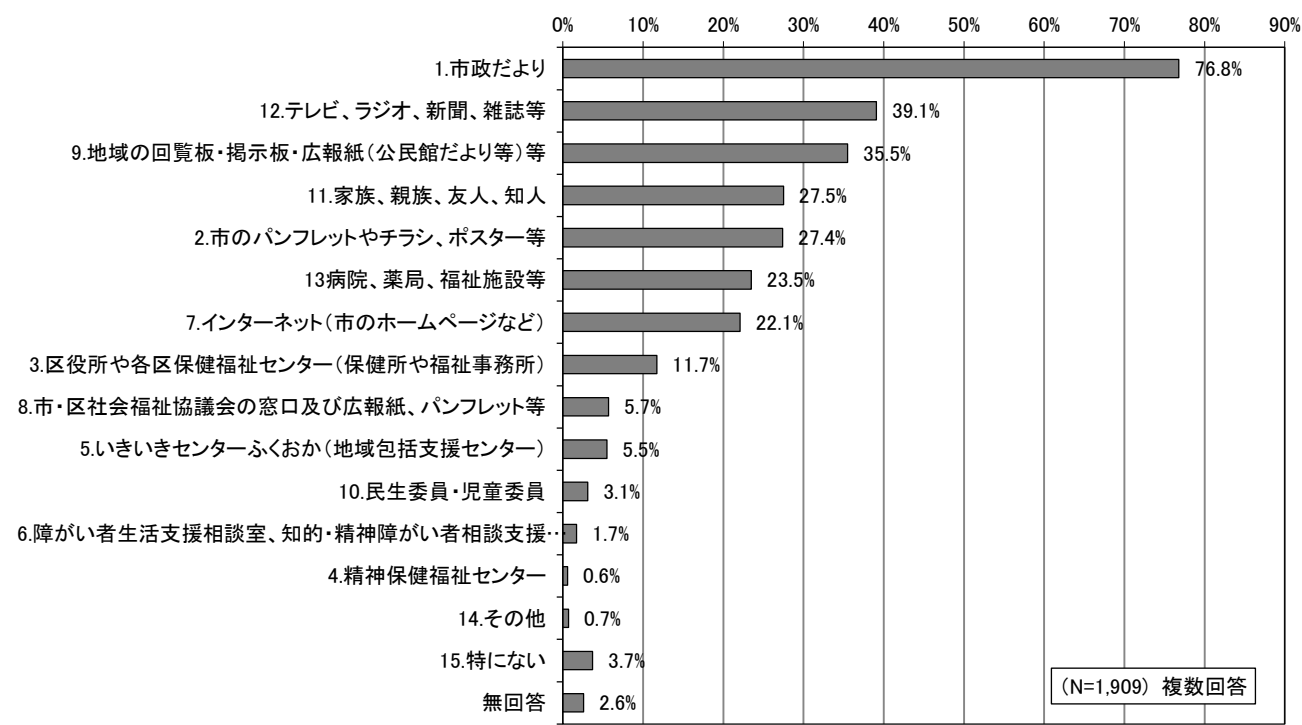
■自治会・町内会



出典：平成26年度自治協議会・自治会等アンケート報告書〔福岡市〕
(注1) 自治協議会等…自治協議会及び自治会・町内会の連合会（自治連合会）
(注2) 図表中の値は、全市での割合

身近な保健福祉に関する情報源及びその満足度

情報源は、多種多様であり、その中でも「市政だより」や「地域の回覧板・掲示板・広報紙」によるものが、満足度が高い。

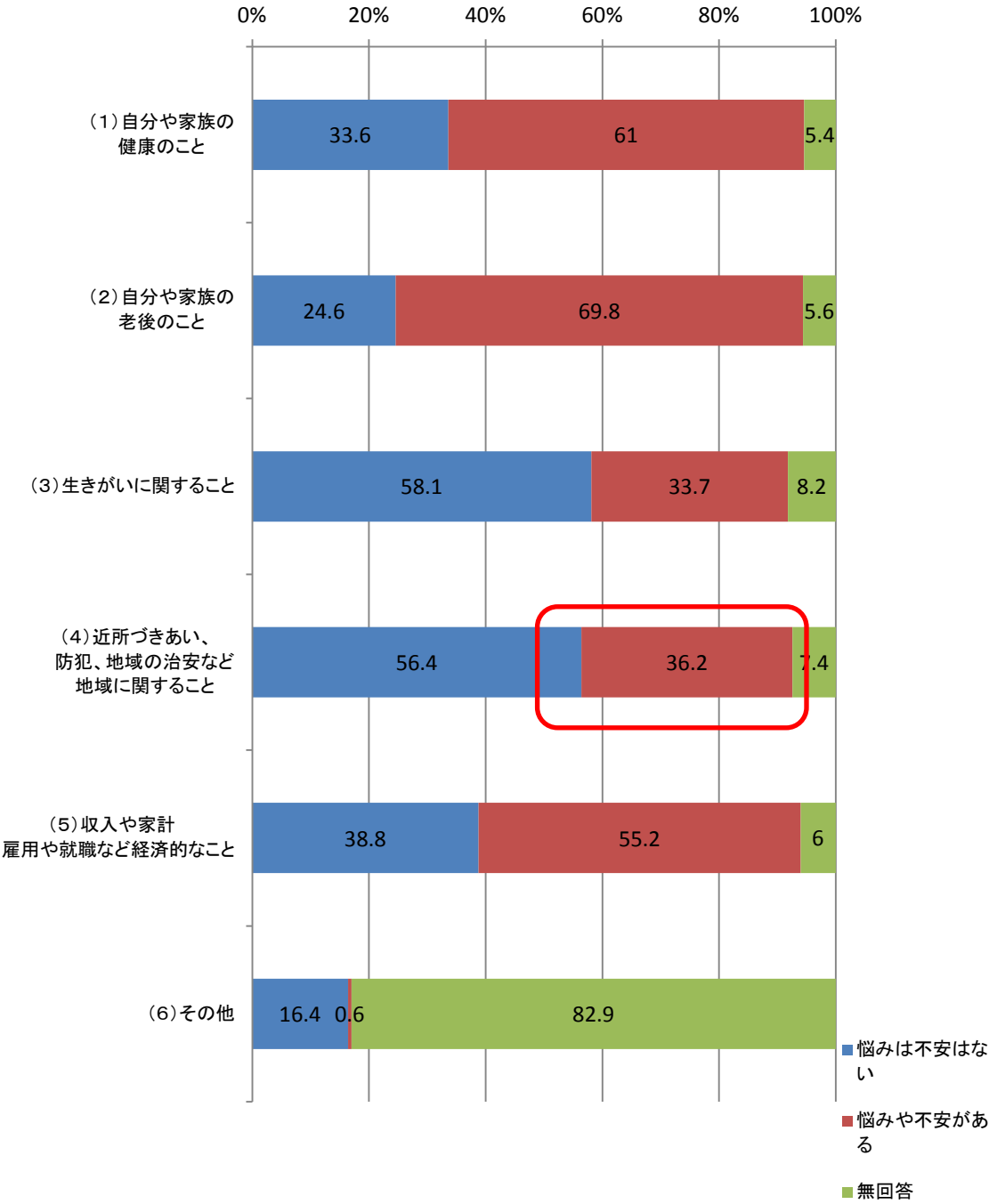


「満足している」+「どちらかといえば満足している」		
1	(1) 市政だより	78.0%
2	(9) 地域の回覧板・掲示板・広報紙	55.2%
3	(2) 市のパンフレットやチラシ・ポスター等	53.9%
4	(1 2) ラジオ、テレビ、新聞、雑誌等	51.5%
5	(1 1) 家族、親族、友人、知人からの情報	50.2%
「不満である」+「どちらかといえば不満である」		
1	(3) 区役所や各区保健福祉センター	14.2%
2	(1 2) ラジオ、テレビ、新聞、雑誌等	14.1%
3	(1 3) 病院、薬局、福祉施設等	13.8%
4	(9) 地域の回覧板・掲示板・広報紙	13.7%
5	(2) 市のパンフレットやチラシ・ポスター等	11.6%

出典：福岡市保健福祉総合計画策定等にかかる市民意識調査（平成26年12月）[福岡市]

悩みや不安の有無とその内容

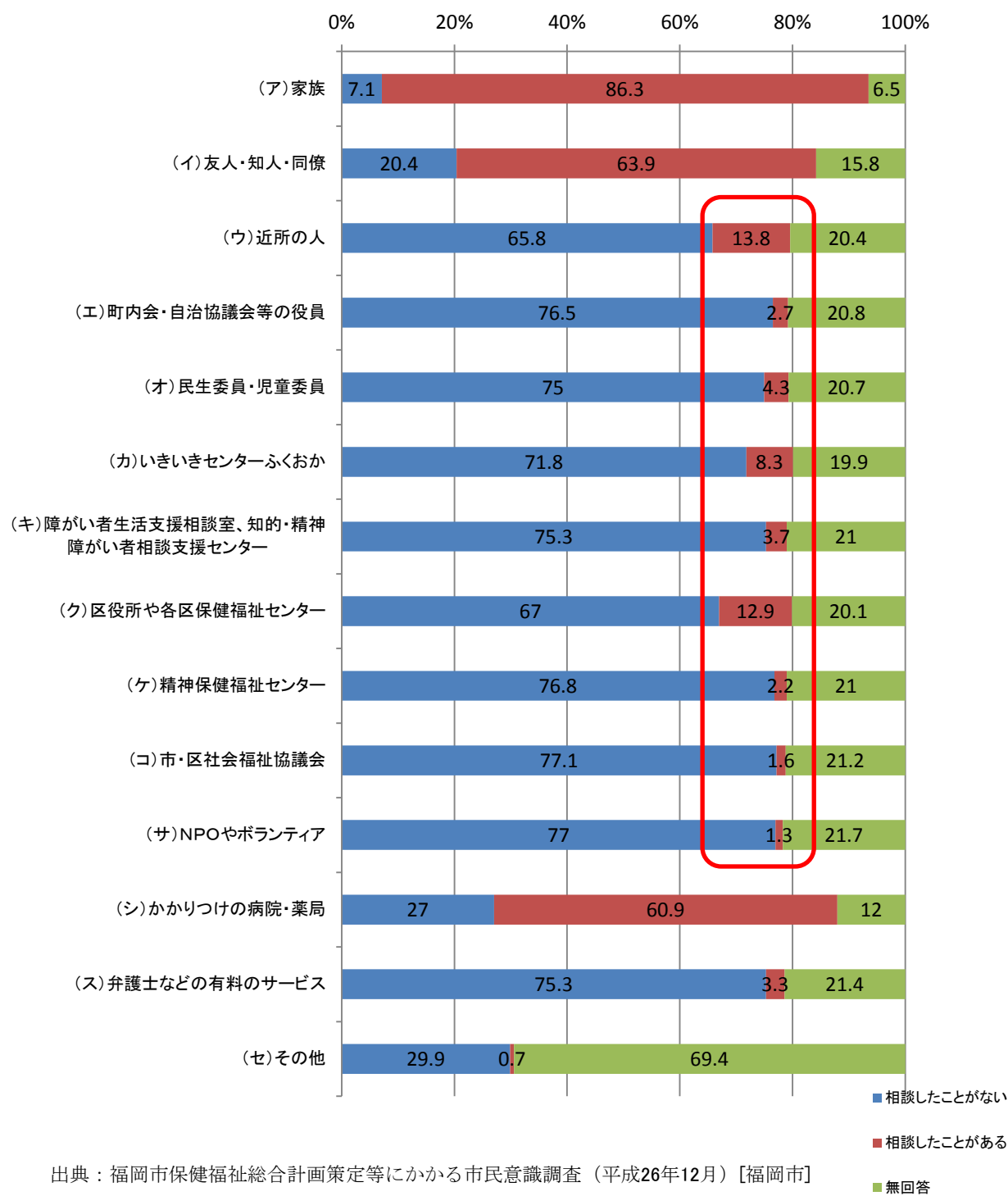
「近所づきあい，防犯，地域の治安など地域に関すること」について，約4割の人が悩みや不安を感じている。



出典：福岡市保健福祉総合計画策定等にかかる市民意識調査（平成26年12月）[福岡市]

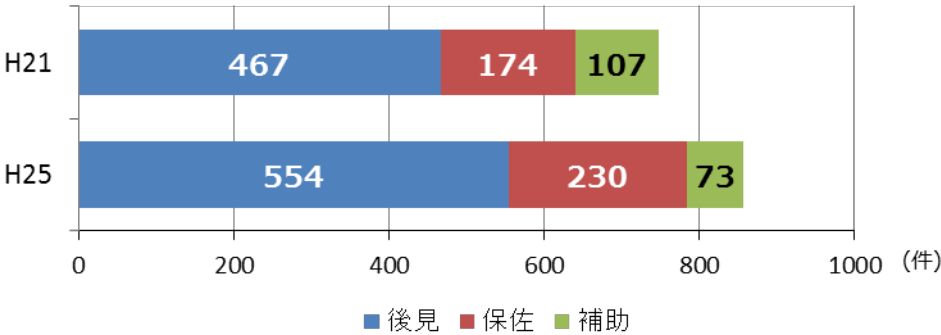
悩みや不安についての相談相手

悩みや不安を相談する相手として、地域の人や行政機関などについては、いずれも15%を満たしていない。

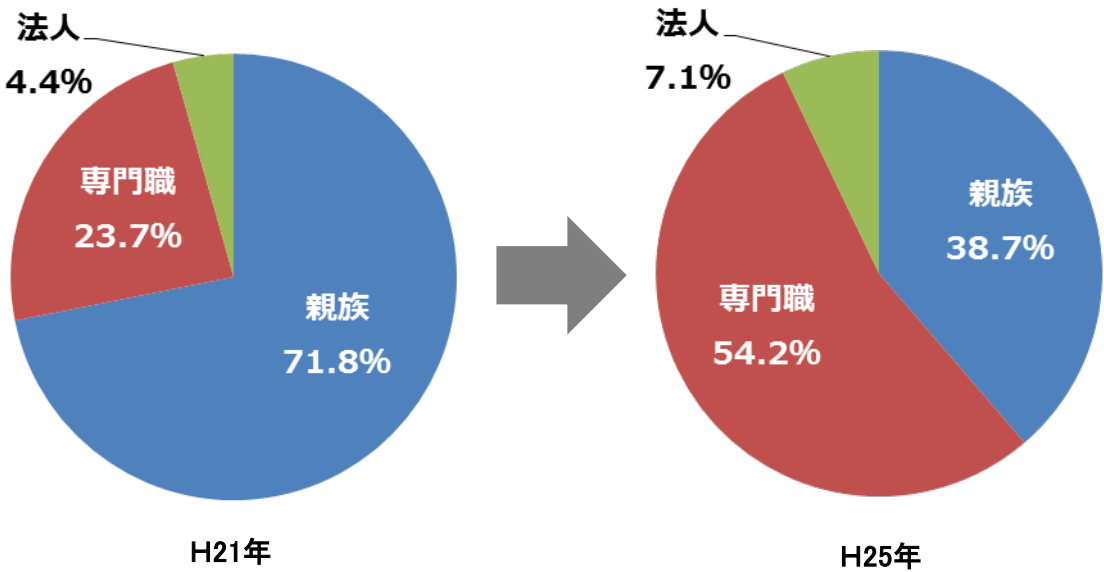


成年後見制度申立件数，成年後見人等の担い手

＜成年後見制度申立件数（福岡家庭裁判所（本庁））＞



＜本人と後見人等との関係（福岡家庭裁判所（管内））＞

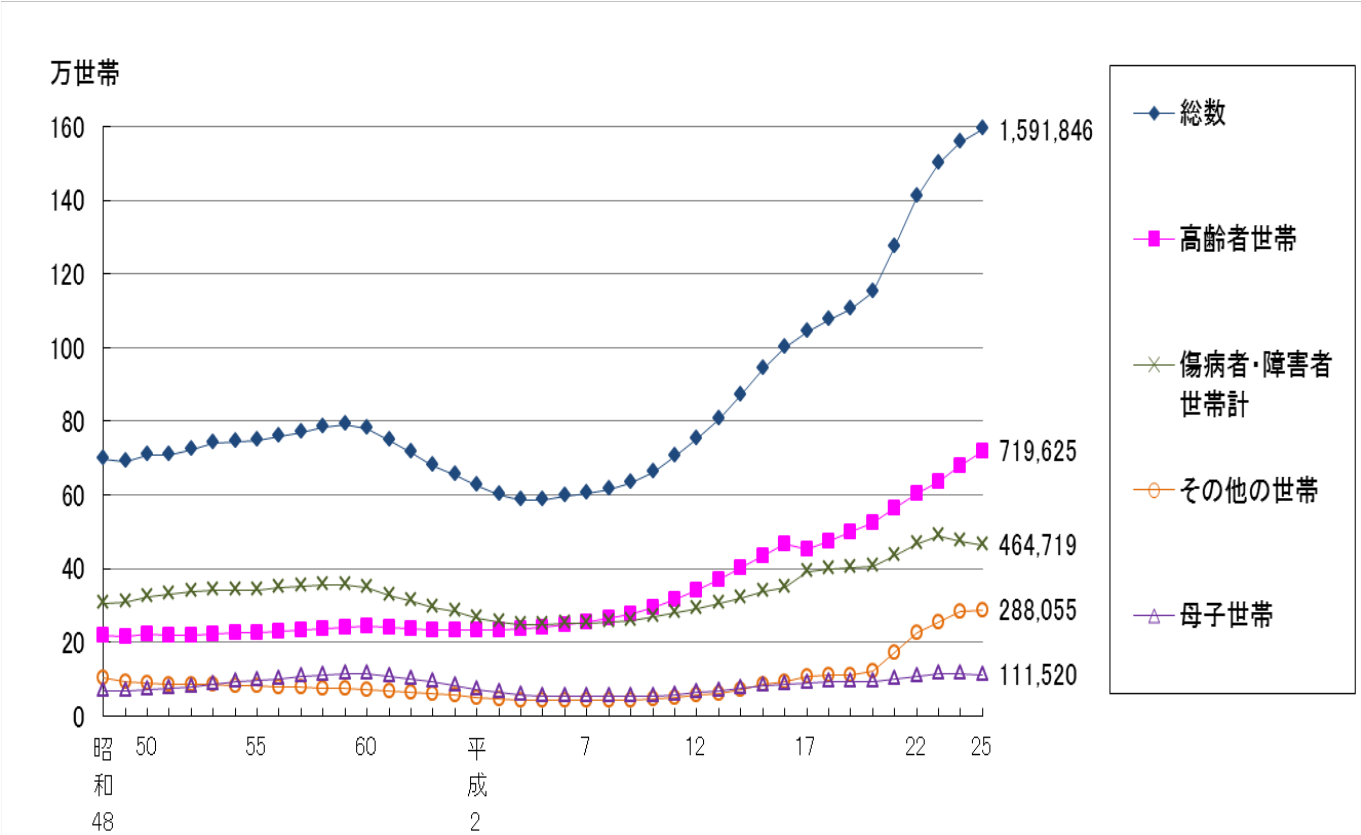


出典：成年後見関係事件の概況〔最高裁判所〕
(注1) 成年後見制度…認知症，知的障がい，精神障がいなどによって物事を判断する能力が十分でない方（ここでは「本人」という。）について，本人の権利を守る援助者（「成年後見人」等）を選ぶことで，本人を法的に支援する制度。
(注2) 後見制度の対象者
①後見…判断能力が全くない方への後見制度
②保佐…判断能力が著しく不十分な方
③補助…判断能力が不十分な方
(注3) 専門職…弁護士，司法書士，社会福祉士等

被保護実人員及び保護率の推移

平成25年度の全国の1か月平均の「被保護世帯数」は、1,591,846世帯（過去最高）で、前年度に比べ33,336世帯（2.1%）増加している。

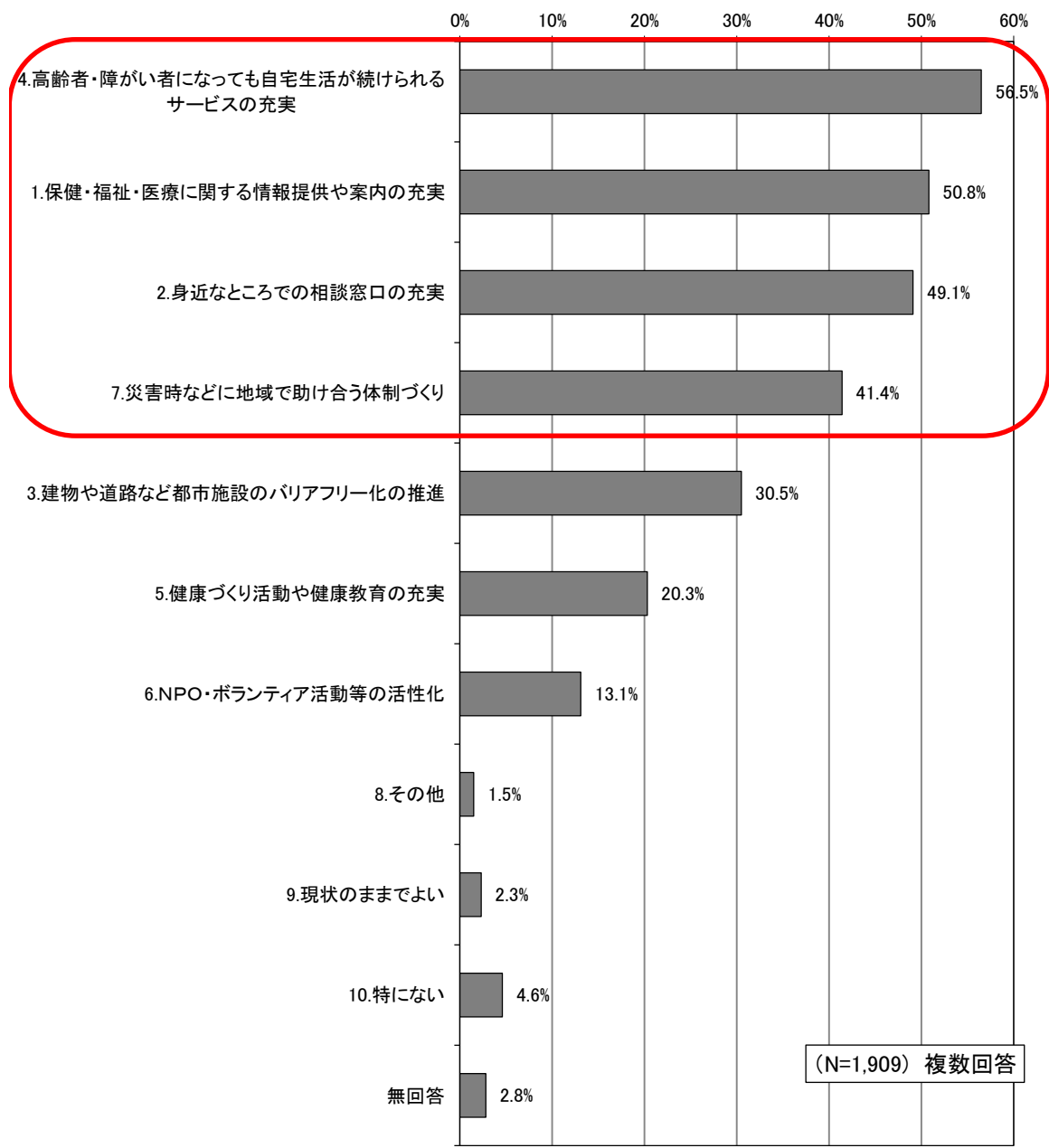
世帯類型別被保護世帯数(1か月平均)



資料: 被保護者調査(平成23年度までは「福祉行政報告例」)
注: 総数には保護停止中の世帯も含む。(各世帯類型別の世帯数には保護停止中は含まれていない。)

住みやすいまちをつくるために力を入れてほしい分野

「高齢者・障がい者になっても自宅生活が続けられるサービスの充実」(56.5%)が最も多く、在宅で生活をしたいとの考えと一致している。次いで、「保健・福祉・医療に関する情報提供や案内の充実」(50.8%)、「身近なところでの相談窓口の充実」(49.1%)、「災害時などに地域で支え合う体制づくり」(41.4%)となっている。情報の提供や相談窓口の充実が望まれている。



出典：福岡市保健福祉総合計画策定等にかかる市民意識調査（平成26年12月）[福岡市]